

北九州市 公園の本

北九州市建設局公園緑地部

北九州市小倉北区内1番1号
〒803-8501 電話093-582-2466



市の花「つつじ」



市の花「ひまわり」



シンボルツリー「いちいがし」

北九州市の花とシンボルツリー

北九州市印刷物登録番号
第 1814018A 号



北九州市 公園の本

編集：北九州市建設局公園緑地部



北九州市都市公園
100
周年

北九州市 公園の本

特集

清滝公園	3
北九州市都市公園100年のあゆみ	5
公園今昔物語	9
いっぱい遊べる公園	11
タコ遊具がある公園	15
スポーツを楽しむ公園	19
花を楽しむ公園	23
自然と親しむ公園	27
文化にふれる公園	29
眺望・夜景を楽しむ公園	31

北九州市の公園紹介

北九州市の公園マップ	33
公園紹介ページの見方	35

門司区の主な公園

① 白野江植物公園	37
② 和布刈公園	39
③ 大里公園	40
④ 小森江子供のもり公園	41

小倉北区の主な公園

⑤ あさの汐風公園	42
⑥ 到津の森公園	43
⑦ 山田緑地	45
⑧ 勝山公園	47
⑨ 足立公園	49
⑩ 三萩野公園	50
⑪ 手向山公園	51
⑫ 櫛山荘公園	52

小倉南区の主な公園

⑬ 平尾台自然の郷	53
⑭ 文化記念公園	55
⑮ 長野緑地	56
⑯ 紫川河畔公園	57
⑰ 吉田太陽の丘公園	58
⑱ 志井公園	59
⑲ 台馬竹林公園	60

若松区の主な公園

⑳ 響灘緑地	61
㉑ 高塔山公園	63
㉒ ひびきコスモス公園	64

八幡東区の主な公園

㉓ 高炉台公園	65
㉔ 東田大通り公園	66
㉕ 桃園公園	67

八幡西区の主な公園

㉖ 本城公園	68
㉗ 的場池公園	69
㉘ 瀬板の森公園	70
㉙ 香月中央公園	71
㉚ 吉祥寺公園	72

戸畑区の主な公園

㉛ 夜宮公園	73
㉜ 中央公園	74
㉝ 美術の森公園	75
㉞ 都島展望公園	76
㉟ 自然歩道	77

北九州市の都市公園と緑の取り組みについて

公園緑地の効果と機能	79
北九州市緑の基本計画	81
街路樹の役割	89
まちなかの緑といきものについて	91
北九州市のシンボルツリーと花	93

その他

公園ランキング	95
目的別施設案内	96

公園は、いろいろな顔を持っている

歩いたり、走ったり、追っかけてこしたり、芝生で寝転んだり、弁当を広げたり……。休日ともなると、笑顔や楽しそうな声でいっぱいになる公園。レクリエーションやスポーツの場、遊びの場、自然とふれあう場など、ふだんなにげなく接しているながら、私たちの暮らしの中にしっかりと根づいているのが公園です。私たちの北九州市には、全域に公園が数多く点在しています。それも大きさやデザイン、内容、設備、景観などさまざま。ちょうど、人の顔がそれぞれ違うように、公園もいろんな顔や表情を持っています。少し足を延ばして、そんな個性的な公園に出会いにいきませんか。



北九州市第一号の都市公園

清滝公園

KIYOTAKI
PARK
SINCE 1916.11

開園当時に作られた絵葉書

「公園の父」と称された造園家 本多静六が手掛けた 北九州市最初の都市公園に思いを馳せて

北九州市(旧門司市)第一号の都市公園として1916年(大正5年)に開設されたこの公園は、造園家 本多静六が手掛けた、いふなればデザイン公園でした。

明治44年、門司にお立ち寄りになられた明治天皇は、門司市(現門司区)に金五百圓を下賜されました。感激した門司市はそれを都市公園建設の基金の一部に充てることとし、当時名を馳せた東京農科大学(現東京大学農学部)の教授であった本多に設計を託すことになりました。

公園を設計するにあたり門司を訪れた本多は、既存の「清瀧遊園」を含む清滝地区を建設予定地とし、滝を正面から望める橋や園内を周遊できる散策路など、自然を生かすつ変化に富んだ公園を造り上げました。

残念ながら昭和28年に水害により崩壊しましたが、今もなお、清滝の名にふさわしい清水のせせらぎを見ることができます。



▲清滝公園 入口



▲風師山へと向かう道路脇の入り口から公園に足を踏み入れると、木々に覆われた遊歩道が、山肌に沿うように上へと続き、右手には小川が所々で小さな滝となり流れ落ちています。

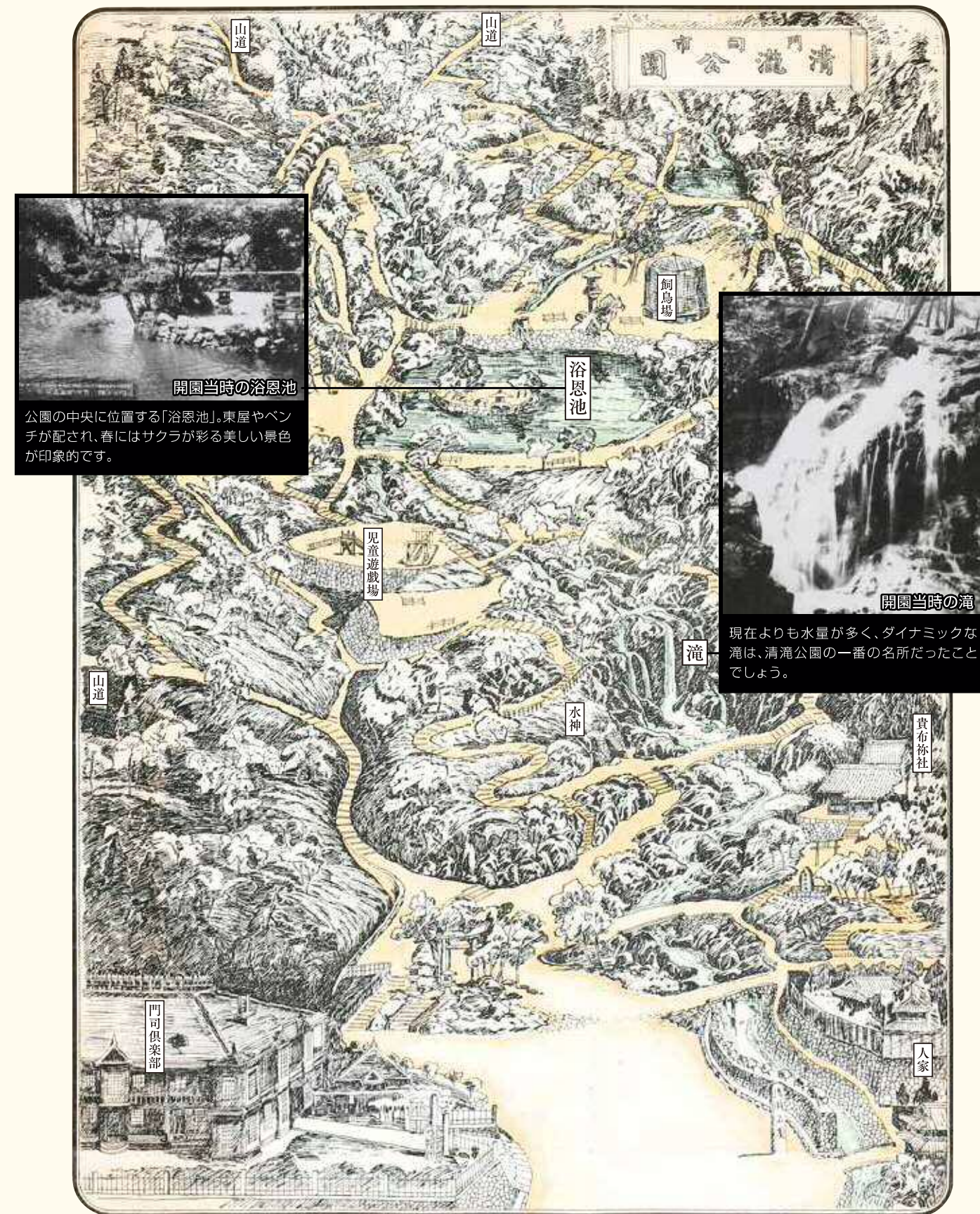
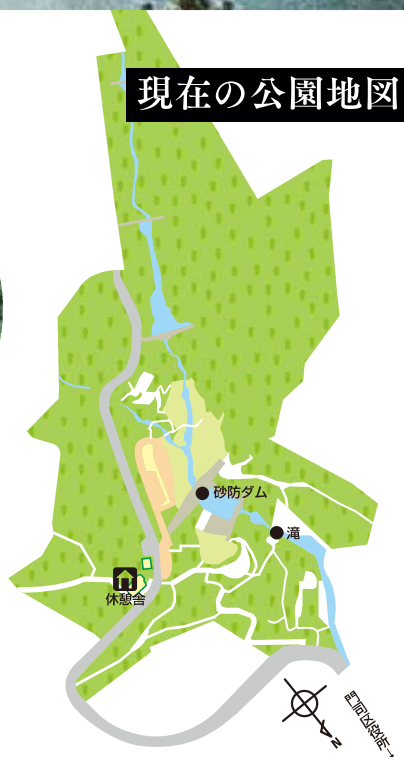


▲ひんやりとした遊歩道を登って行くと、桜が植えられた広場があり、石造りの砂防ダムのそばには小さな池があります。

所在地 / 門司区元清滝1番・4番・5番
開設 / 1916年11月3日
面積 / 3.4ha

交通 / JR「門司港駅」下車、徒歩約20分

現在の公園地図



開園当時の浴恩池

公園の中央に位置する「浴恩池」。東屋やベンチが配され、春には桜が彩る美しい景色が印象的です。



開園当時の滝

現在よりも水量が多く、ダイナミックな滝は、清滝公園の一番の名所だったことでしょう。

開園当時の公園絵図

開園当時の絵図。当時としては珍しかったと思われるシーソーやすべり台を設置した「児童遊戯場」や「飼鳥場」などもあり、大人も子どもも楽しめる造りだったことがわかります。斜面に沿ってくねくねと曲がりくねった遊歩道を散策する楽しさが伝わってきます。

協力: 門司図書館新門司分館 松ヶ江郷土史会



協力: 久喜市役所

日本の「公園の父」
本多 静六 1866 - 1952

慶応2年(1866年)7月2日南埼玉郡河原井村(現久喜市菖蒲町河原井)生まれ
明治17年3月東京山林学校(後の東京農科大学)入学
明治23年 卒業とともに、林学を学ぶためドイツへ留学
明治25年 2年間の留学で博士号の学位を取得、欧米を視察した後帰国し、母校の助教授、教授となる

本多静六は清滝公園の他にも、東京の明治神宮、日比谷公園、福岡の大濠公園など、公園の設計に携わりました。

100 北九州市都市公園 年のあゆみ

2016年、北九州市最初の都市公園開設から100周年を迎えました。

市民の皆様の活動の場、憩いの場として利用されている公園。1916年(大正5年)に北九州市の都市公園第一号となる「清滝公園」(P3)が開設されてから100周年を迎え、これまでに1,706箇所(平成28年4月1日現在)の公園が整備されました。

子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の遊びやスポーツの場として、また、緑にふれあう場として、さまざまな役割を担う公園。北九州市都市公園100年の数多い歴史の中から、その一部をのぞいてみましょう。

市内の主な公園緑地のあゆみ

大正 5 年 11月

清滝公園開設



大正 11 年 12月

老松公園開設

昭和 14 年 11月

三萩野公園開設

昭和 15 年 12月

大里公園開設

昭和 17 年 4月

高塔山公園開設



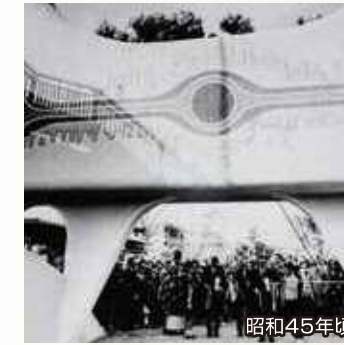
昭和 26 年 4月

高炉台公園開設



昭和 32 年 4月

勝山公園開設



昭和 32 年 12月

夜宮公園開設



昭和 37 年 7月

都島展望公園開設

昭和 38 年 2月

五市合併により北九州市となる

昭和 38 年 9月

桃園公園開設

昭和 49 年 3月

北九州市のシンボルツリーを「イチイガシ」に指定



昭和 51 年 3月

的場池公園開設

昭和 57 年 12月

北九州市の花を「つつじ」「ひまわり」に指定



昭和 60 年 3月

香月中央公園開設

昭和 61 年

7月

志井公園開設「アドベンチャープール」開設



平成6年頃

昭和 62 年

3月

志井公園「アドベンチャーメイズ」開設

7月

文化記念公園開設

平成 元 年

3月

ひびき動物ワールド開設

4月

本城公園開設

平成 2 年

9月

第45回国民体育大会「とびうめ国体」夏季・秋季大会開催
(文化記念公園、本城公園)



文化記念公園



本城陸上競技場

平成 3 年

9月

第8回全国都市緑化北九州フェア開催(響灘緑地)



当時のフェアの様子

平成 4 年

4月

響灘緑地「グリーンパーク」開設

平成 7 年

5月

山田緑地開設

平成 8 年

4月

白野江植物公園開設

平成 10 年

9月

勝山公園「小倉城庭園」開設



平成 13 年

4月

三萩野公園「芝生広場」開設

平成 14 年

4月

到津の森公園開設

平成 15 年

5月

長野緑地「体験学習ゾーン」開設

平成 18 年

3月

勝山公園「大芝生広場」リニューアルオープン



平成 19 年

4月

勝山公園「中央図書館エリア」リニューアルオープン



平成 20 年

3月

勝山公園「子どものあそび場エリア」リニューアルオープン



平成 20 年

6月

高塔山公園「山頂広場」リニューアルオープン

平成 22 年

7月

ひびきコスモス公園開設

平成 23 年

4月

勝山公園「グリーンエコハウス」開設

平成 24 年

8月

長野緑地「広場エリア(大型遊具)」開設

平成 24 年

10月

香月中央公園「芝生広場」開設

平成 28 年

9月

都島展望公園「都島球場」リニューアルオープン



公園今昔物語 昔《》今

公園は、一定期間を経ると、老朽化などの理由により再整備(リニューアル)が行われます。再整備された公園を「昔はこんな公園だったな」と懐かしく思うこともあると思います。

今回は、再整備によって現在の公園がどれほど姿を変えてきたのか、ほんの一部をご紹介しますと思います。もしかすると「こんな公園だったんだ!」と驚くものもあるかもしれませんよ。

門司区 鎮西橋公園 所在地:門司区港町3番 →P34MAP

昔



昭和初期頃

かつては、海の船舶の係留所でしたが、公園が再整備され、門司港レトロ地区の玄関口の役割を担っています。



今

八幡西区 黒崎中央公園

所在地:八幡西区黒崎一丁目10番 →P33MAP

平成22年に地域のイベントの場などとして、ステージなど全面的な整備を行いました。

昔



平成19年頃

三角公園と呼ばれ、当時は噴水がありました。

八幡東区 高炉台公園 所在地:八幡東区中央三丁目 →P65

八幡市政40周年を祝って高炉を模した鉄都誕生記念碑が寄贈され、あわせて高炉台公園(旧熊本山公園)と公園名も改称しました。当時の記念碑は老朽化のため、現在は新しいモニュメントが設置されています。

昔



平成元年頃



今



今

小倉北区 勝山公園

所在地:小倉北区城内 →P47

かつてはゴーカート乗り場もあった勝山公園。噴水と市民会館があった場所は現在は大芝生広場となり、イベントや市民の憩いの場になっています。ゾウの遊具は現在もなお姿を変えず残っています。

昔



昭和51年頃



今

昔

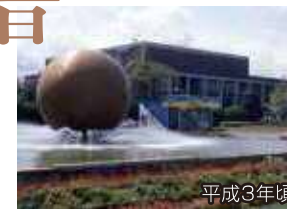


昭和51年頃



今

昔



平成3年頃



今

戸畑区ほか 中央公園(電話広場)

所在地:戸畑区金比羅町・東鞘ヶ谷町・八幡東区高見五丁目 →P74

子どもたちの遊び場として、平成22年に再整備されました。広場には、市内でも珍しい電話型のすべり台が設置されていたため、電話広場と呼ばれていました。老朽化のため、現在は新しい電話の遊具が設置されています。

昔



平成19年頃



今

戸畑区 夜宮公園

所在地:戸畑区夜宮一・二丁目 →P73

かつては相撲場がありましたが、現在は自然豊かな林となっています。

昔



平成元年頃



今

戸畑区 浅生1号公園

所在地:戸畑区新池一丁目1番 →P33MAP

毎年7月には「戸畑祇園大山笠競演会」が開催され、多くの人で賑わいます。平成18年に再整備を行い、芝生広場に生まれ変わりました。

昔



平成16年頃



今